

I 指定研修

# 4 小学校・中学校 特別支援学校 キャリアアップ研修 I

- 採用から5年目の教員を対象とした悉皆の研修です。教員としてのこれまでの実践を振り返り、学級・学年経営、教科指導、生徒指導等にかかわる専門的知識を豊かにするとともに技能の向上を図ります。
- 「小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校」は、校外研修が3日間あり、原則1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を確認してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>指定研修/生徒実習>指定研修>キャリアアップ研修I)
- 特別支援学校と養護教諭、栄養教諭の研修の詳細については、以下の担当課にお問い合わせください。  
・特別支援学校 → 特別支援教育課へ ・養護教諭、栄養教諭 → 保健厚生課へ

## 1 小学校・中学校・義務教育学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全体研修	A(東中信)	5月27日(月)	1日	総合教育センター	p.88を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B(南北信)	5月28日(火)			
課題研究研修		令和7年 1月30日(木)	1日	在勤校におけるオンライン研修	
教師力向上研修Ⅳ		6月25日(火)	1日	各教育事務所が指定する会場	それぞれの主催機関等に連絡して指示を受けてください。

□「全体研修」「課題研究研修」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

## 2 特別支援学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全体研修		5月27日(月)	1日	総合教育センター	p.88を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
課題研究研修		令和7年 1月30日(木)	1日	在勤校におけるオンライン研修	
教師力向上研修Ⅳ		年間 (6月～2月)	1日	総合教育センター	

□「全体研修」「課題研究研修」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

□「教師力向上研修Ⅳ」は、下の一覧表から1日を選択し、学校でとりまとめて、**総合教育センターへ電子申請で申し込んでください(締切 4月25日(木))**。

※1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整させていただく場合があります。

キャリアアップ研修 I 特別支援学校 教師力向上研修Ⅳ					
教科・領域	講座番号	講座名		実施日	掲載ページ
特別支援教育	3-6-01-23	スタート! 特別支援学校 ～特別支援学校で大切にしたいこと～		7月26日(金)	65
	3-6-02-23	読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン) ～苦手さの要因から支援を考える～		7月12日(金)	65
	3-6-02-24	発達障がいや吃音のある子の理解と支援 ～将来を見通した支援のあり方～		11月7日(木)	66
	3-6-02-25	「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～		11月12日(火)	66
	3-6-03-21	特別支援教育の授業づくりⅠ ～一緒に楽しもう! 障がいのある子の音楽～		6月21日(金)	66
	3-6-03-23	特別支援教育の授業づくりⅢ ～「自分で学べる」につながる支援～		8月5日(月)	66
	3-6-03-24	特別支援教育の授業づくりⅣ(オンライン) ～構想してみよう! 生活単元学習の授業～		8月6日(火)	66
	3-6-04-23	発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう! 応用行動分析～		10月29日(火)	67

### 3 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座の全てに出席することができない場合、校長は、教職教育部長(0263 - 53 - 8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：令和6年4月17日(水)

キャリアアップ研修Ⅰ 小学校・中学校・特別支援学校 共通必修研修												
キャリアステージ		基礎形成期				伸長期			充実期		深化・貢献期／管理職期	
講座番号・講座名		実施日		内容、連絡等								
1-2-10-01 全体研修A		5月27日(月)		講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義 「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 講義・演習 「GIGAスクール構想で求められる1人1台端末の活用」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 佐藤 和紀 協議 「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善による探究的な学びの創出」 学びの改革支援課 キャリアアップ研修Ⅰオリエンテーション 教職教育部専門主事 ■持ち物と事前課題を「手引」を確認のうえ、持参してください。								
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応			
	③ ⑤	⑦ ⑧	⑩ ⑪	⑫ ⑭								
1-2-10-02 全体研修B		5月28日(火)		講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義 「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 講義・演習 「GIGAスクール構想で求められる1人1台端末の活用」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 佐藤 和紀 協議 「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善による探究的な学びの創出」 学びの改革支援課 キャリアアップ研修Ⅰオリエンテーション 教職教育部専門主事 ■持ち物と事前課題を「手引」を確認のうえ、持参してください。								
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応			
	③ ⑤	⑦ ⑧	⑩ ⑪	⑫ ⑭								
1-2-10-03 課題研究研修(オンライン)		1月30日(木) 【オンライン研修】 ※在勤校にて実施		自己課題に基づく実践について資料を用いて発表し、参加者からフィードバックを得ます。 演習 「自己課題研究発表会」 ■持ち物 自己課題の発表ができる資料(オンラインで共有できるように準備する) ※全体研修で説明します。								
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応			
	③	⑦ ⑧ ⑨	⑫ ⑭									

小・中義務特支  
指定研修  
キャリアアップ  
研修Ⅰ

I 指定研修

# 5 高等学校 キャリアアップ研修 I

- 採用から5年目の教員を対象とした悉皆の研修です。教員としてのこれまでの実践を振り返り、学級・学年経営、教科指導、生徒指導等にかかわる専門的知識を豊かにするとともに技能の向上を図ります。
- 総合教育センターでの3日間の校外研修を原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を確認してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>指定研修/生徒実習>指定研修>キャリアアップ研修 I)

## 1 研修講座の日程等

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
教職研修 I	A	5月27日(月)	1日	総合教育センター	p.88を参照し、指定研修用の申請方法を 確認してください。 (代替講座受講)
	B	5月28日(火)			
生徒指導力向上研修		6月10日(月)	1日	総合教育センター	
教職研修 II	A	9月12日(木)	1日	総合教育センター	
	B	9月13日(金)			

□ 各研修とも期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

## 2 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座の全てに出席することができない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：令和6年4月17日(水)

キャリアアップ研修 I 高等学校 共通必修研修												
キャリアステージ		基礎形成期				伸長期			充実期		深化・貢献期/管理職期	
講座番号・講座名		実施日				内容・連絡等						
1-2-03-01 教職研修 I A		5月27日(月)				講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義 「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 キャリアアップ研修 I オリエンテーション 教職教育部専門主事 協議 「主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり」 教職教育部専門主事						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				■持ち物 なし 講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義 「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 キャリアアップ研修 I オリエンテーション 教職教育部専門主事 協議 「主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり」 教職教育部専門主事						
	③   ④   ⑤	⑦   ⑧   ⑨   ⑩   ⑪   ⑫   ⑬   ⑭										
1-2-03-02 教職研修 I B		5月28日(火)				■持ち物 なし						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				■持ち物 なし						
	③   ④   ⑤	⑦   ⑧   ⑨   ⑩   ⑪   ⑫   ⑬   ⑭										

キャリアアップ研修Ⅰ 高等学校 共通必修研修										
キャリアステージ		基礎形成期			伸長期		充実期		深化・貢献期／管理職期	
講座番号・講座名				実施日		内容、連絡等				
1-2-03-03 生徒指導力向上研修				6月10日(月)		改訂された『生徒指導提要』の内容を踏まえ、生徒指導の意義を再確認するとともに、いじめ問題を通して組織的な生徒指導体制づくりについて学び、生徒指導力の向上を目指します。 講義・演習 「生徒指導の力量の向上をめざして ～『生徒指導提要』改訂の方向性と学校に求められるいじめ問題への対応～」 講師 関西外国語大学 教授 新井 肇				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
	④ ⑤				⑩ ⑪					
1-2-03-04 教職研修ⅡA				9月12日(木)		特別支援教育について理解を深め、具体的な指導・支援について考えます。 教育課題について、2年次研修の受講者と協議しながら解決策を探るとともに、協議の進め方について考えます。 講義・演習 「高校における合理的配慮と特別支援教育」 特別支援教育課主任指導主事 協議 「日々の実践を振り返る」クロスエイジセッション 教職教育部専門主事				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
	③ ④								⑬	
1-2-03-05 教職研修ⅡB				9月13日(金)		特別支援教育について理解を深め、具体的な指導・支援について考えます。 教育課題について、2年次研修の受講者と協議しながら解決策を探るとともに、協議の進め方について考えます。 講義・演習 「高校における合理的配慮と特別支援教育」 特別支援教育課主任指導主事 協議 「日々の実践を振り返る」クロスエイジセッション 教職教育部専門主事				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
	③ ④								⑬	

指導研修  
高等学校  
キャリアアップ  
研修Ⅰ



- 採用から10年目以上の教員を対象とした、悉皆の研修です。これまでの教員としての実践を振り返り、意識の改革、視野の拡大及び専門性の向上をめざし、中堅教員として必要とされる資質の向上を図ります。
- 校外研修8日間、校内研修20日間の研修内容を、原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を確認してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修/生徒実習>指定研修>キャリアアップ研修Ⅱ)
- 幼稚園等、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の研修の詳細については、以下の担当課にお問い合わせください。
  - ・幼稚園 → 学びの改革支援課へ
  - ・幼稚園 → 幼保連携型認定こども園 → こども・家庭課へ
  - ・特別支援学校 → 特別支援教育課へ
  - ・養護教諭、栄養教諭 → 保健厚生課へ

## 1 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全体研修	A(中東信)	5月16日(木)	1日	総合教育センター	p.88を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講) ※1
	B(南北信)	5月17日(金)			
生徒指導力充実研修	小学校	6月24日(月)	1日	総合教育センター	
	中学校	6月25日(火)			
現代的な諸課題への対応		年間 (6月～2月)	1日	総合教育センター等	
教師力向上研修Ⅴ		年間 (6月～2月)	1日	対象者が各会場を選定	
異業種体験研修		長期休業中	2日	地域の企業等	
選択研修Ⅲ		年間 (6月～2月)	2日	各研究会会場等 総合教育センター	※1に同じ。

□「全体研修」「生徒指導力充実研修」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

□「現代的な諸課題への対応」は、下の一覧表及び次ページの一覧表から自己課題に応じて1日を選択し、学校でとりまとめて、総合教育センターへ電子申請で申し込んでください(締切4月25日(木))。

※1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整させていただく場合があります。

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校 現代的な諸課題への対応						
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ	
探究の学び	3-1-14-21	図書館教育 ～学校図書館を活用した探究的な学びの創造～	小 中	11月15日(金)	55	
	3-1-15-21	総合的な学習の時間の単元構成 ～探究的な学習の過程を意識して～	小 中	9月20日(金)	56	
	3-1-15-23	総合的な学習・探究の時間Ⅱ ～新聞を活用して探究を深める～	小 中	11月19日(火)	56	
人権教育	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	小 中	10月1日(火)	40	
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	小 中	10月17日(木)	40	
健康教育	3-2-05-21	性に関する指導研修会	小 中	8月28日(水)	40	
キャリア教育	3-2-06-21	学校と社会がつながるキャリア教育	小 中	8月8日(木)	40	
マネジメント	3-2-08-21	学校組織マネジメント 応用Ⅰ ～ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～	小 中	7月8日(月)	40	
	3-2-08-22	学校組織マネジメント 応用Ⅱ ～教育法規と学校運営～	小 中	12月6日(金)	40	
	3-2-08-23	学校組織が駆動するICT活用の可能性 ～チーム学校につなげる実践のアイデア～	小 中	7月5日(金)	41	
	3-2-09-21	学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント	小 中	6月28日(金)	41	
情報モラル	3-3-01-21	情報モラル 基本Ⅰ ～授業で取り組む著作権教育～	小 中	6月20日(木)	69	
	3-3-01-22	情報モラル 基本Ⅱ ～個人情報を守る情報セキュリティ～	小 中	10月4日(金)	69	

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校 現代的な諸課題への対応					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
ICT活用	3-3-02-02	ICT活用Ⅱ ～教科指導におけるICT活用事例を学ぶ～	小 中	8月 8日(木)	69
インクルーシブ教育	3-6-02-21	通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！A ～UDLの視点を生かして(小学校)～	小 -	6月17日(月)	65
	3-6-02-22	通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！B ～UDLの視点を生かして(中学校)～	- 中	7月 8日(月)	65
	3-6-02-23	読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン) ～苦しさの要因から支援を考える～	小 中	7月12日(金)	65
	3-6-03-22	特別支援教育の授業づくりⅡ(オンライン) ～授業のUD化で わかった！できた！～	小 中	7月31日(水)	66
	3-6-03-25	特別支援教育の授業づくりⅤ ～自立と社会参加へ 進路・キャリア教育～	小 中	8月29日(木)	66

- 「教師力向上研修Ⅴ」は、自己課題に基づき取り組んだ内容をまとめ、校外の研究会等で発表し、参加者からフィードバックを得る研修です。詳細は、5月16、17日の「全体研修」でお知らせします。
- 「異業種体験研修」は、原則として勤務校近隣の企業等を各自で選定し、長期休業中に実施します。
- 「選択研修Ⅲ」は、総合教育センターのキャリアアップ研修Ⅱ対象の研修講座 (p. 30～33) や、各地区で行われる教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を検討して計画・実施します。総合教育センターの研修講座を受講する場合は、学校でとりまとめて、総合教育センターへ電子申請で申し込んでください(締切4月25日(木))。

## 2 特別支援学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
特別支援教育教職研修A		5月16日(木)	1日	総合教育センター	特別支援教育課に連絡し、指示を受けてください。 (代替講座受講) 様式第60号又は61号
特別支援教育教職研修B		8月 7日(水)	1日	オンライン形式	
特別支援教育教職研修C		令和7年 1月30日(木)	1日	総合教育センター	
生徒指導力充実研修	小学校	6月24日(月)	1日	総合教育センター 特別支援教育課が指定したいいずれか1講座を受講する(幼稚部・小学部に所属している者は小学校、中・高等部に所属している者は中学校で受講することを原則とする)。	p. 88を参照し、指定研修用の申請方法を 確認してください。 (代替講座受講)
	中学校	6月25日(火)			
異業種体験研修		長期休業中	2日	地域の企業等	それぞれの主催機関等に連絡して指示を受けてください。
選択研修Ⅲ		年間 (6月～2月)	2日	各研究会会場 等 ----- 総合教育センター	※1に同じ。

- 「特別支援教育教職研修A～C」「生徒指導力充実研修」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。
- 「異業種体験研修」は、原則として勤務校近隣の企業等を各自で選定し、長期休業中に実施します。
- 「選択研修Ⅲ」は、総合教育センターのキャリアアップ研修Ⅱ対象の研修講座 (p. 30～33) や、各地区で行われる教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を検討して計画・実施します。総合教育センターの研修講座を受講する場合は、学校でとりまとめて、総合教育センターへ電子申請で申し込んでください(締切4月25日(木))。

## 3 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座の全てに出席することができない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「R6 猶予予定」「R7 実施予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：令和6年4月17日(水)

キャリアアップ研修Ⅱ 幼稚園等・小学校・中学校・特別支援学校 共通必修研修											
キャリアステージ		基礎形成期			伸長期			充実期		深化・貢献期／管理職期	
講座番号・講座名				実施日			内容・連絡等				
1-3-12-01 全体研修A(中東信)				5月16日(木)			講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榊原 禎宏 協議 「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間について」 講義 「なぜ今、学校・地域・家庭の連携なのか」 文化財・生涯学習課指導主事 キャリアアップ研修Ⅱ オリエンテーション 演習 「これまでの10年間、これからの10年間」 ■センターHPから「手引」をダウンロードし、持参してください。 ■持ち物と事前課題を「手引」で確認し、年間計画と共に持参。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
1-3-12-02 全体研修B(南北信)				5月17日(金)			講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榊原 禎宏 協議 「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間について」 講義 「なぜ今、学校・地域・家庭の連携なのか」 文化財・生涯学習課指導主事 キャリアアップ研修Ⅱ オリエンテーション 演習 「これまでの10年間、これからの10年間」 ■センターHPから「手引」をダウンロードし、持参してください。 ■持ち物と事前課題を「手引」で確認し、年間計画と共に持参。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
1-3-01-01 生徒指導力充実研修(小学校)				6月24日(月)			改訂された『生徒指導提要』を踏まえ、授業を中心とした日々の教育活動の中で、生徒指導力を充実させることの意義や必要性について理解を深めます。一人一人の子供たちの自己有用感を育む必要性や落ち着いた学習環境を維持できている学校における教職員の具体的な行動について、各地の実践事例を踏まえて学びます。 講義・演習 「多様な教育的ニーズに対応する学校 ～教育的予防の考えを踏まえて～」 講師 日本大学 教授 藤平 敦 ■持ち物 なし				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		④	⑤	⑥		⑩	⑪				
1-3-02-01 生徒指導力充実研修(中学校)				6月25日(火)			改訂された『生徒指導提要』を踏まえ、授業を中心とした日々の教育活動の中で、生徒指導力を充実させることの意義や必要性について理解を深めます。一人一人の子供たちの自己有用感を育む必要性や落ち着いた学習環境を維持できている学校における教職員の具体的な行動について、各地の実践事例を踏まえて学びます。 講義・演習 「多様な教育的ニーズに対応する学校 ～教育的予防の考えを踏まえて～」 講師 日本大学 教授 藤平 敦 ■持ち物 なし				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		④	⑤	⑥		⑩	⑪				

キャリアアップ研修Ⅱ  
幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 選択研修Ⅲ						
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ	
国語	3-1-01-21	資質・能力を育成する高校国語科の授業 ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～	- 中 特	6月17日(月)	44	
	3-1-01-22	調査官と学ぶ小学校国語科の授業改善 ～全国学力・学習状況調査から考える～	小 中 特	9月13日(金)	44	
	3-1-01-24	塩尻短歌館探訪 ～短歌に親しむ芸術の秋～	小 中 特	10月4日(金)	44	
	3-1-01-25	校種間の連携を大事にした古典指導 ～「古典の魅力」を感じ続けるために～	小 中 特	10月18日(金)	44	
	3-1-01-26	調査官と学ぶ中学校国語科の授業改善 ～全国学力・学習状況調査から考える～	小 中 特	11月14日(木)	44	
社会	3-1-02-21	地域素材の教材化Ⅰ ～埋蔵文化財センターを活用した教材研究～	小 中 特	7月5日(金)	45	
	3-1-02-22	地域素材の教材化Ⅱ ～県立歴史館を活用した教材研究～	小 中 特	7月9日(火)	45	
	3-1-02-23	中学校・高校公民の授業づくり ～主権者教育を意識した授業～	- 中 特	9月17日(火)	45	
	3-1-02-24	これからの小学校・中学校社会科 ～調査官と学ぶ指導と評価～	小 中 特	11月14日(木)	46	
算数・数学	3-1-03-21	小学校低学年算数 ～授業づくり はじめの一歩～	小 - 特	6月3日(月)	46	
	3-1-03-22	小学校中学年算数 ～授業づくり はじめの一歩～	小 - 特	6月13日(木)	46	
	3-1-03-23	小学校高学年算数 ～授業づくり はじめの一歩～	小 - 特	7月1日(月)	46	
	3-1-03-24	調査官と学ぶ 算数の授業づくりⅠ ～見方・考え方を働かせた授業づくり～	小 - 特	8月30日(金)	46	
	3-1-03-25	調査官と学ぶ 算数の授業づくりⅡ ～全国学力・学習状況調査を生かした授業づくり～	小 - 特	9月19日(木)	46	
	3-1-03-26	中学校数学 魅力ある授業づくり ～これからの中学校数学の教材研究のあり方～	- 中 特	8月26日(月)	46	
	3-1-03-29	中学校高校連携数学 ～数学的活動から中高連携を考える～	- 中 特	9月20日(金)	47	
	3-1-03-30	調査官に学ぶ中高数学の授業づくりⅠ ～全国学力・学習状況調査を授業改善に繋ぐ～	- 中 特	10月29日(火)	47	
3-1-03-32	調査官に学ぶ中高数学の授業づくりⅡ ～指導と評価の一体化を目指して～	- 中 特	12月6日(金)	47		
理科	3-1-04-21	小学校理科の授業づくり ～理科の見方・考え方を働かせている子供の姿～	小 - 特	9月13日(金)	48	
	3-1-04-22	小学校理科のものづくり ～理科のものづくりについて考えよう～	小 - 特	9月20日(金)	48	
	3-1-04-23	中学校理科実験 ～理科実験と指導を学ぶ～	- 中 特	6月21日(金)	48	
	3-1-04-24	中学校理科第1分野の授業づくり ～調査官と学ぶ物理、化学の授業づくり～	- 中 特	7月19日(金)	48	

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 選択研修Ⅲ					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
理科	3-1-04-25	中学校理科第2分野の授業づくり ～生物、地学の教材研究と授業づくり～	- 中 特	8月2日(金)	48
	3-1-04-31	理科小中高の授業づくり ～概念形成から考える小中高のつながり～	小 中 特	11月14日(木)	49
外国語活動	3-1-05-03	言語活動を通して育成する資質・能力 ～小学校の指導のポイント～	小 中 特	7月8日(月)	50
	3-1-05-05	中学校英語の授業づくり ～調査官と考える授業改善～	- 中 特	7月18日(木)	50
	3-1-05-21	調査官と学ぶ小中連携英語 ～「話すこと」の指導～	小 中 特	6月28日(金)	50
	3-1-05-23	中高英語の授業づくりから評価まで ～指導と評価の一体化について～	- 中 特	7月19日(金)	51
	3-1-05-24	中高英語の自己表現力を高める指導 ～言語活動を効果的に取り入れる～	- 中 特	11月1日(金)	51
生活	3-1-06-21	生活科 環境の構成で子供が動き出す ～気付きの質を高める教師の支援～	小 - 特	6月3日(月)	51
	3-1-06-22	生活科 子供の学びをどう捉えるか ～45分ただ一人を見つめて～	小 - 特	10月25日(金)	51
音楽・家庭	3-1-07-23	音楽・家庭科専科のための授業づくり ～実践発表から具体的な授業づくりへ～	小 - 特	8月23日(金)	52, 53
音楽	3-1-07-21	調査官と学ぶ中高音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～	- 中 特	6月6日(木)	51
	3-1-07-22	子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりを中心に～	小 中 特	7月11日(木)	51
	3-1-07-24	調査官と学ぶ小学校音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～	小 - 特	8月27日(火)	52
	3-1-07-25	共通事項を要とした授業づくり ～知覚から感受へ、鑑賞を中心に～	小 中 特	10月22日(火)	52
	3-1-07-26	音楽の授業とICT活用 ～実践から具体的な活用を考え合う～	小 中 特	11月29日(金)	52
	3-1-07-27	音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIを活用した授業～	小 中 特	12月10日(火)	52
図画工作・美術	3-1-08-21	調査官と学ぶ小学校図画工作 ～造形遊びの指導と評価のポイント～	小 - 特	6月7日(金)	52
	3-1-08-22	創造性を育む鑑賞学習 ～授業に生きる鑑賞学習の理論と実践～	小 中 特	8月8日(木)	52
	3-1-08-23	授業に生きる凹版画の魅力 ～体験的に学ぶ凹版画制作の基礎～	小 中 特	8月23日(金)	53
	3-1-08-24	図画工作におけるICT有効活用 ～体験的に学ぶICTの有効性～	小 - 特	9月6日(金)	53
	3-1-08-25	調査官と学ぶ中学校・高校美術 ～授業に生きる指導と評価のポイント～	- 中 特	9月26日(木)	53
	3-1-08-26	美術館を活用した鑑賞学習 ～In下諏訪ハモ美術館～	小 中 特	11月7日(木)	53
	3-1-08-27	美術におけるICT有効活用 ～体験的に学ぶICTの有効性～	- 中 特	11月29日(金)	53
家庭	3-1-09-21	初めての 小学校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	小 - 特	6月7日(金)	53
	3-1-09-22	初めての 中学校高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	- 中 特	6月27日(木)	53
	3-1-09-23	調査官と考える家庭科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～	小 中 特	7月26日(金)	53
	3-1-09-24	ICTを活用した家庭科の授業づくり ～実践発表と体験から学ぶ～	小 中 特	8月7日(水)	54
	3-1-09-25	消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～	- 中 特	9月12日(木)	54
技術	3-1-10-21	初めての 生物育成の技術 ～野菜花き試験場で学ぶ栽培の基本～	小 中 特	6月6日(木)	54
	3-1-10-22	初めての 材料と加工の技術 ～工作機械の安全とデジタルものづくり～	小 中 特	7月30日(火)	54
	3-1-10-23	調査官と考える技術科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～	小 中 特	8月9日(金)	54
	3-1-10-24	統合的な問題を扱った授業づくり ～技術科における問題解決のプロセスと思考～	小 中 特	10月24日(木)	54
	3-1-10-25	じっくり話そう 技術分野の授業づくり ～研修講座と授業実践の往還～	小 中 特	11月18日(月)	54
道徳	3-1-11-21	道徳性を育むための授業づくり ～考え、議論する道徳の時間～	小 中 特	6月17日(月)	55
	3-1-11-22	調査官と考える道徳教育の充実 ～年間指導計画を見直そう～	小 中 特	7月1日(月)	55
特別活動	3-1-12-21	小・中・高 学級づくり 基本 ～調査官と学ぶ特別活動～	小 中 特	6月21日(金)	55
図書館教育	3-1-14-21	図書館教育 ～学校図書館を利活用した探究的な学びの創造～	小 中 特	11月15日(金)	55
学 習 合 格 の 時 間	3-1-15-21	総合的な学習の時間の単元構成 ～探究的な学習の過程を意識して～	小 中 特	9月20日(金)	56
	3-1-15-22	総合的な学習・探究の時間Ⅰ(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～	小 中 -	10月28日(月)	56, 81
	3-1-15-23	総合的な学習・探究の時間Ⅱ ～新聞を活用して探究を深める～	小 中 特	11月19日(火)	56
プログラミング教育	3-1-17-22	創造性を育むプログラミング教育 ～アナログとデジタルの融合～	小 中 特	6月20日(木)	56
	3-1-17-23	子供の願いが連続するプログラミング教育 ～機械学習を用いた問題解決～	小 中 特	9月19日(木)	56
幼児教育	3-1-20-21	幼児期の子供は遊びと学びの達人 ～遊び浸る子供を支える～	小 - 特	7月12日(金)	56
学校体育	3-1-16-11	登山の引率 はじめの一步 ～学校登山引率者向け～	小 中 特	5月23日(木)	57
	3-1-16-12	子どもが夢になる水泳学習 ～水泳の楽しさを味わう指導法～	小 中 特	5月31日(金)	57
	3-1-16-13	小学校体づくり運動 <長野県版運動プログラム普及講座B>	小 中 特	6月7日(金)	57
	3-1-16-14	プロセスから学ぶコミュニケーション・ワーク ～よりよい人間関係の構築に向けて～	小 中 特	6月25日(火)	57
	3-1-16-15	幼少期の運動能力を伸ばすバルシューレ ～ドイツで生まれた子どものためのボール遊び～	小 中 特	6月28日(金)	57
	3-1-16-16	運動好きへの第一歩 ～ニュースポーツ・パラスポーツ～	小 中 特	7月2日(火)	57

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 選択研修Ⅲ

教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
学校体育	3-1-16-17	体育学習スタート1 ～器械運動～	小 中 特	7月 6日(土)	57
	3-1-16-18	仲間をつなぐ授業づくり(中南信) ～体育の楽しさを学ぼう～	小 中 特	7月11日(木)	57
	3-1-16-19	体験しよう! 多様な武道 ～空手道・合気道～	小 中 特	7月18日(木)	58
	3-1-16-21	みんなではじめる パラリンピック教育 ～共生社会の実現に向けて～	小 中 特	8月 2日(金)	58
	3-1-16-22	子どもが輝く! 運動会のダンス・表現 ～運動会へつなぐ表現の授業～	小 - 特	8月 7日(水)	58
	3-1-16-23	みんなが楽しいボール運動・球技 ～教材づくりのポイント～	小 中 特	8月21日(水)	58
	3-1-16-24	子どものからだづくり心づくり ～現代の子どもの育ちについて～	小 中 特	8月27日(火)	58
	3-1-16-25	インクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～	小 中 特	9月 2日(月)	58
	3-1-16-26	剣道技能・指導法講習会(2日間) ～剣道の魅力を味わおう～	- 中 -	9月5日(木)～9月6日(金)	58
	3-1-16-28	実践! 障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～自立活動に活かすムーブメント教育～	小 中 特	9月12日(木)	59
	3-1-16-29	体育学習スタート2 ～ゲーム・ボール運動～	小 中 特	9月19日(木)	59
	3-1-16-30	だれでもできる マット・跳び箱・鉄棒運動 ～できた喜びを味わえる指導法～	小 中 特	9月27日(金)	59
	3-1-16-31	体育学習スタート3 ～走・跳の運動、陸上運動～	小 中 特	10月 1日(火)	59
	3-1-16-32	動ける体をつくる幼児期の運動指導 <長野県版運動プログラム普及講座A>	小 - 特	10月 7日(月)	59
	3-1-16-33	仲間をつなぐ授業づくり(東北信) ～体育の楽しさを学ぼう～	小 中 特	10月11日(金)	59
	3-1-16-34	柔道技能・指導法講習会(2日間) ～柔道の特性・基本動作を中心に～	- 中 -	10月17日(木)～10月18日(金)	59
	3-1-16-36	表現・創作ダンス ～子どもから動きを引き出す指導法～	小 中 特	10月31日(木)	59
	3-1-16-37	効率的かつ効果的な部活動指導 ～「競技力の向上」と「人間的な成長」の2つのゴールを目指して～	- 中 -	11月 7日(木)	60
	3-1-16-38	子どもが夢中になる 縄跳びや運動遊びの指導法 ～段階的な指導を大切にした授業づくり～	小 中 特	11月 8日(金)	60
	3-1-16-39	部活動を充実させる体幹トレーニング <長野県版運動プログラム普及講座C>	小 中 特	11月12日(火)	60
3-1-16-40	ICTを活用した創造的な学び ～興味を引き出す保健体育の授業～	小 中 特	11月28日(木)	60	
生涯スポーツ	3-1-16-51	指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法 ～スポーツ活動における危機対応～	小 中 特	6月11日(火)	83
	3-1-16-52	学ぼう! 障がいのある子どもにあった運動・遊び ～ムーブメント教育を活用して～	小 中 特	7月20日(土)	83
	3-1-16-53	スポーツへ応用できる古武術的身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～	小 中 特	11月18日(月)	83
	3-1-16-54	スポーツを楽しむためのコミュニケーションスキル ～部活動指導に活かせるペップトーク～	小 中 特	8月24日(土)	83
	3-1-16-55	スポーツ活動時のケガや故障の予防に向けて ～エクササイズ・テーピングの活用～	小 中 特	8月30日(金)	83
	3-1-16-56	メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出そう～	小 中 特	11月16日(土)	83
	3-1-16-57	学生アスリートのスポーツ栄養の基礎と現場への適応 ～ベストコンディションの実現に向けて～	小 中 特	12月 2日(月)	83
学校力の向上	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	小 中 特	10月 1日(火)	40
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	小 中 特	10月17日(木)	40
	3-2-05-21	性に関する指導研修会	小 中 特	8月28日(水)	40
	3-2-06-21	学校と社会がつながるキャリア教育	小 中 特	8月 8日(木)	40
	3-2-08-21	学校組織マネジメント 応用Ⅰ ～ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～	小 中 特	7月 8日(月)	40
	3-2-08-22	学校組織マネジメント 応用Ⅱ ～教育法規と学校運営～	小 中 特	12月 6日(金)	40
	3-2-08-23	学校組織が駆動するICT活用の可能性 ～チーム学校につなげる実践のアイデア～	小 中 特	7月 5日(金)	41
	3-2-09-21	学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント	小 中 特	6月28日(金)	41
情報教育	3-3-02-02	ICT活用Ⅱ ～教科指導におけるICT活用事例を学ぶ～	小 中 特	8月 8日(木)	69
生指・特支	3-5-02-24	生徒指導・特別支援教育 基本 ～子供の発達とその課題への支援～	小 中 特	11月21日(木)	62, 67
生徒指導	3-5-01-01	教育相談 基礎 ～受容・共感からはじまる教育相談～	小 中 特	7月11日(木)	62
	3-5-01-21	教育相談 基本 ～学校で生かせる解決志向のアプローチ～	小 中 特	8月30日(金)	62
	3-5-01-22	関係づくり 基本Ⅰ ～“かかわりの力”を育むSimpleプログラム～	小 中 特	7月 5日(金)	62
	3-5-01-23	関係づくり 基本Ⅱ ～カウンセリングを学んで教師力アップ!～	小 中 特	10月 1日(火)	62
	3-5-02-21	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅰ ～情報活用能力としての情報モラル教育～	小 中 特	6月 3日(月)	62
	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅱ ～不登校の児童生徒への理解と支援～	小 中 特	10月10日(木)	62
	3-5-02-23	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅲ ～子供に寄り添う理解と支援～	小 中 特	10月11日(金)	62
	3-5-02-25	連携・危機対応 基本 ～関係機関との連携のあり方を学ぶ～	小 中 特	11月 8日(金)	62
	3-5-02-26	連携・危機対応 応用 ～保護者対応の具体を学ぶ～	小 中 特	6月11日(火)	63
特別支援教育	3-6-01-23	スタート! 特別支援学校 ～特別支援学校で大切にしたいこと～	- - 特	7月26日(金)	65
	3-6-02-21	通常の学級で学びにくさの壁を壊そう! A ～UDLの視点を生かして(小学校)～	小 - -	6月17日(月)	65

指定研修  
幼小中義務特支  
キャリアアップ  
研修Ⅱ

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 選択研修Ⅲ					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
特別支援教育	3-6-02-22	通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！B ～UDLの視点を生かして(中学校)～	- 中 -	7月 8日(月)	65
	3-6-02-23	読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン) ～苦手さの要因から支援を考える～	小 中 特	7月12日(金)	65
	3-6-02-24	発達障がいや吃音のある子の理解と支援 ～将来を見通した支援のあり方～	小 中 特	11月 7日(木)	66
	3-6-02-25	「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～	小 中 特	11月12日(火)	66
	3-6-03-22	特別支援教育の授業づくりⅡ(オンライン) ～授業のUD化で わかった！できた！～	小 中 -	7月31日(水)	66
	3-6-03-24	特別支援教育の授業づくりⅣ(オンライン) ～構想してみよう！生活単元学習の授業～	小 中 特	8月 6日(火)	66
	3-6-03-25	特別支援教育の授業づくりⅤ ～自立と社会参加へ 進路・キャリア教育～	小 中 -	8月29日(木)	66
	3-6-04-21	特別支援教育における保護者との関係づくり ～保護者と連携・協働するために～	小 中 特	9月24日(火)	66
	3-6-04-23	発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう！応用行動分析～	小 中 特	10月29日(火)	67
信州大学連携	3-7-01-01	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA (中农信会場)	小 中 特	9月30日(月)	41, 77
	3-7-01-02	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB (東北信会場)	小 中 -	10月 3日(木)	41, 77
	3-7-03-01	更新し続ける教師 ～多様な一人ひとりの学びを保障する教室づくり～	小 中 特	6月 4日(火)	42, 79
	3-7-03-02	学級づくり・学校づくり ～近未来の学校と期待される教師像～	小 中 特	8月 9日(金)	42, 79
	3-7-03-03	へき地・小規模校における教育実践 ～個別最適な学びを実現する授業づくり～	小 中 特	7月29日(月)	42, 79
教上越大学院大連携	3-8-01-01	特別の教科道徳 授業づくりの理論と実践 ～小中9年間のつながりを意識した道徳科授業づくり～	小 中 特	6月14日(金)	55, 80
	3-8-01-02	ICTを活用した授業づくり ～教科学習における効果的なICT活用～	小 中 特	7月12日(金)	56, 80
	3-8-01-03	国・英で連携する「ことば」を通じた深い学び ～小中高を通じた言語活動の充実を目指して～	小 中 特	7月25日(木)	45, 51, 80
	3-8-01-04	学級経営と授業経営の一体的な充実 ～学級経営・授業経営 両面からのマイアクション～	小 中 特	9月 3日(火)	55, 80
	3-8-01-05	教師間連携を生み出す特別支援教育 ～多様な児童生徒の実態把握と指導・支援～	小 中 特	9月20日(金)	67, 80

# I 指定研修

## 7 高等学校 キャリアアップ研修 II

- 採用から10年目以上の教員を対象とした、悉皆の研修です。これまでの教員としての実践を振り返り、意識の改革、視野の拡大及び専門性の向上をめざし、中堅教員として必要とされる資質の向上を図ります。
- 校外研修8日間、校内研修20日間の研修内容を、原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を確認してください。「研修の手引」様式は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修/生徒実習>指定研修>キャリアアップ研修II)

### 1 研修講座の日程等

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
教職研修 I	A	5月16日(木)	1日	総合教育センター	p.88を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B	5月17日(金)			
生徒指導力充実研修 高校		6月18日(火)	1日	総合教育センター	
教職研修 II		8月26日(月)	1日	総合教育センター	
教職研修 III		令和7年 1月23日(木)	1日	総合教育センター	
選択必修研修		年間 (6月~2月)	2日	総合教育センター	
				県教育委員会が指定する公開授業等(手引参照)	
義務教育ジョブシャドウイング		年間	0~1日	地域の市町村立小学校・中学校	
社会体験研修			1~2日		
			合計 2日		

- 「教職研修 I~III」「生徒指導力充実研修」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。
- 「選択必修研修」は、2日のうち1日以上は原則として自己の教科に係る研修講座を選択し、申し込みます。総合教育センターのキャリアアップ研修II対象の研修講座(p.35~37)を受講する場合は、学校でとりまとめて、**総合教育センターへ電子申請で申し込んでください(締切 4月25日(木))**。  
※1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整させていただく場合があります。
- 「義務教育ジョブシャドウイング」「社会体験研修」は、原則として勤務校近隣の企業等を各自で選定します。

### 2 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座の全てに出席することができない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「R6 猶予予定」「R7 実施予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：令和6年4月17日(水)

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 共通必修研修											
キャリアステージ		基礎形成期			伸長期			充実期		深化・貢献期／管理職期	
講座番号・講座名				実施日			内容、連絡等				
1-3-03-01 教職研修ⅠA				5月16日(木)			講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榎原 禎宏 協議 「総合的な探究の時間について」 教科教育部 協議 「各教科における探究的な学びについて」 教職教育部 演習 「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部 ■「手引」及び「『教職研修Ⅰ』事前課題」をセンターHPからダウンロードし、必要事項を記入して持参してください。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応				
	③ ④ ⑤					⑩ ⑪				⑭	
1-3-03-02 教職研修ⅠB				5月17日(金)			講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習 「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榎原 禎宏 協議 「総合的な探究の時間について」 教科教育部 協議 「各教科における探究的な学びについて」 教職教育部 演習 「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部 ■「手引」及び「『教職研修Ⅰ』事前課題」をセンターHPからダウンロードし、必要事項を記入して持参してください。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応				
	③ ④ ⑤					⑩ ⑪				⑭	
1-3-03-03 生徒指導力充実研修 高校				6月18日(火)			発達障がいを抱える生徒や不登校の生徒への理解を深めるとともに、具体的な支援や対応について学び、生徒指導力のさらなる充実を図ります。 講義・演習 「高等学校における特別支援教育と不登校への支援」 講師 F R教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 ■持ち物 なし				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応				
	④					⑩ ⑪				⑬	
1-3-03-04 教職研修Ⅱ				8月26日(月)			現代の諸課題について理解を深めるとともに、コーチングの考え方を理解して、今後の教育活動に生かします。 実践発表・演習 「探究型学習の実践について」 各高校担当教諭 講義・演習 「学校教育に活かすコーチング」 講師 常葉大学 教授 久米 昭洋 ■持ち物 なし				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応				
	③ ④			⑧		⑩ ⑪				⑭	
1-3-03-05 教職研修Ⅲ				1月23日(木)			教育法規について学ぶとともに、レポートの発表と協議を通し、今後の課題や方向性を明らかにします。 講義・演習 「教育法規と学校組織マネジメント」 講師 学習院大学 教授 黒川 雅子 グループ協議 「キャリアアップ研修Ⅱのまとめ」 ■レポート「校内研修報告書(原案)」の様式を送付します。指定された日までに記入して送付してください。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応				
	③ ④ ⑤ ⑥			⑦ ⑧ ⑨							

キャリアアップ  
研修Ⅱ

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 選択必修研修				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
国語	3-1-01-21	資質・能力を育成する高校国語科の授業 ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～	6月17日(月)	44
	3-1-01-24	塩尻短歌館探訪 ～短歌に親しむ芸術の秋～	10月4日(金)	44
	3-1-01-25	校種間の連携を大事にした古典指導 ～「古典の魅力」を感じ続けるために～	10月18日(金)	44
	3-1-01-26	調査官と学ぶ中学校国語科の授業改善 ～全国学力・学習状況調査から考える～	11月14日(木)	44
	3-1-01-28	高校書道 基本	8月7日(水)	45
公地歴	3-1-02-21	地域素材の教材化Ⅰ ～埋蔵文化財センターを活用した教材研究～	7月5日(金)	45
	3-1-02-22	地域素材の教材化Ⅱ ～県立歴史館を活用した教材研究～	7月9日(火)	45
	3-1-02-23	中学校・高校公民の授業づくり ～主権者教育を意識した授業～	9月17日(火)	45
数学	3-1-03-27	高校数学 統計分野の授業づくり ～統計で考える力の育成を目指して～	6月6日(木)	46
	3-1-03-28	高校数学 魅力ある授業づくり ～これからの高校数学の教材研究のあり方～	6月24日(月)	46
	3-1-03-29	中学校高校連携数学 ～数学的活動から中高連携を考える～	9月20日(金)	47
	3-1-03-30	調査官に学ぶ中高数学の授業づくりⅠ ～全国学力・学習状況調査を授業改善に繋ぐ～	10月29日(火)	47
	3-1-03-32	調査官に学ぶ中高数学の授業づくりⅡ ～指導と評価の一体化を目指して～	12月6日(金)	47
理科	3-1-04-24	中学校理科第1分野の授業づくり ～調査官と学ぶ物理、化学の授業づくり～	7月19日(金)	48
	3-1-04-25	中学校理科第2分野の授業づくり ～生物、地学の教材研究と授業づくり～	8月2日(金)	48
	3-1-04-26	視学官と学ぶ高校理科 ～生徒を主役にする授業づくり～	9月20日(金)	48
	3-1-04-28	高校理科実験 ～物化生地のつながりを実験から学ぶ～	10月3日(木)	49



キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 選択必修研修				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
理科	3-1-04-29	高校理科課題研究 ～課題研究の指導を学ぶ～	11月11日(月)	49
	3-1-04-31	理科小中高の授業づくり ～概念形成から考える小中高のつながり～	11月14日(木)	49
英語	3-1-05-22	中高接続から考える英語教育 ～学習経験を踏まえた授業づくり～	7月4日(木)	50
	3-1-05-23	中高英語の授業づくりから評価まで ～指導と評価の一体化について～	7月19日(金)	51
	3-1-05-24	中高英語の自己表現力を高める指導 ～言語活動を効果的に取り入れる～	11月1日(金)	51
	3-1-05-25	主体的・対話的な学びを深める授業 ～英語の見方・考え方を働かせる授業づくり～	11月15日(金)	51
音楽	3-1-07-21	調査官と学ぶ中高音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～	6月6日(木)	51
	3-1-07-22	子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりを中心に～	7月11日(木)	51
	3-1-07-25	共通事項を要とした授業づくり ～知覚から感受へ、鑑賞を中心に～	10月22日(火)	52
	3-1-07-26	音楽の授業とICT活用 ～実践から具体的な活用を考え合う～	11月29日(金)	52
	3-1-07-27	音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIを活用した授業～	12月10日(火)	52
美術	3-1-08-22	創造性を育む鑑賞学習 ～授業に生きる鑑賞学習の理論と実践～	8月8日(木)	52
	3-1-08-23	授業に生きる凹版画の魅力 ～体験的に学ぶ凹版画制作の基礎～	8月23日(金)	53
	3-1-08-25	調査官と学ぶ中学校・高校美術 ～授業に生きる指導と評価のポイント～	9月26日(木)	53
	3-1-08-26	美術館を活用した鑑賞学習 ～In下諏訪ハーモ美術館～	11月7日(木)	53
	3-1-08-27	美術におけるICT有効活用 ～体験的に学ぶICTの有効性～	11月29日(金)	53
家庭	3-1-09-22	初めての 中学校高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	6月27日(木)	53
	3-1-09-23	調査官と考える家庭科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～	7月26日(金)	53
	3-1-09-24	ICTを活用した家庭科の授業づくり ～実践発表と体験から学ぶ～	8月7日(水)	54
	3-1-09-25	消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～	9月12日(木)	54
特別活動	3-1-12-21	小・中・高 学級づくり 基本 ～調査官と学ぶ特別活動～	6月21日(金)	55
図書館教育	3-1-14-21	図書館教育 ～学校図書館を活用した探究的な学びの創造～	11月15日(金)	55
総合的 探究的 時間	3-1-15-22	総合的な学習・探究の時間Ⅰ(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～	10月28日(月)	56, 81
	3-1-15-23	総合的な学習・探究の時間Ⅱ ～新聞を活用して探究を深める～	11月19日(火)	56
	3-1-15-24	総合的な探究の時間の授業づくり ～「探究したい!」と思える授業づくり～	8月5日(月)	56
学校 体育	3-1-16-11	登山の引率 はじめの一步 ～学校登山引率者向け～	5月23日(木)	57
	3-1-16-14	プロセスから学ぶコミュニケーション・ワーク ～よりよい人間関係の構築に向けて～	6月25日(火)	57
	3-1-16-15	幼少期の運動能力を伸ばすバルシューレ ～ドイツで生まれた子どものためのボール遊び～	6月28日(金)	57
	3-1-16-16	運動好きへの第一歩 ～ニュースポーツ・パラスポーツ～	7月2日(火)	57
	3-1-16-19	体験しよう! 多様な武道 ～空手道・合気道～	7月18日(木)	58
	3-1-16-21	みんなではじめめる パラリンピック教育 ～共生社会の実現に向けて～	8月2日(金)	58
	3-1-16-24	子どものからだづくり心づくり ～現代の子どもの育ちについて～	8月27日(火)	58
	3-1-16-25	インクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～	9月2日(月)	58
	3-1-16-26	剣道技能・指導法講習会(2日間) ～剣道の魅力を味わおう～	9月5日(木)～9月6日(金)	58
	3-1-16-28	実践! 障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～自立活動に活かすムーブメント教育～	9月12日(木)	59
	3-1-16-34	柔道技能・指導法講習会(2日間) ～柔道の特性・基本動作を中心に～	10月17日(木)～10月18日(金)	59
	3-1-16-36	表現・創作ダンス ～子どもから動きを引き出す指導法～	10月31日(木)	59
	3-1-16-37	効率的かつ効果的な部活動指導 ～「競技力の向上」と「人間的な成長」の2つのゴールを目指して～	11月7日(木)	60
	3-1-16-39	部活動を充実させる体幹トレーニング (長野県版運動プログラム普及講座C)	11月12日(火)	60
3-1-16-40	ICTを活用した創造的な学び ～興味を引き出す保健体育の授業～	11月28日(木)	60	
生涯 スポ ーツ	3-1-16-51	指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法 ～スポーツ活動における危機対応～	6月11日(火)	83
	3-1-16-52	学ぼう! 障がいのある子どもにあった運動・遊び ～ムーブメント教育を活用して～	7月20日(土)	83
	3-1-16-53	スポーツへ応用できる古武術的身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～	11月18日(月)	83
	3-1-16-54	スポーツを楽しむためのコミュニケーションスキル ～部活動指導に活かせるペップトーク～	8月24日(土)	83
	3-1-16-55	スポーツ活動時のケガや故障の予防に向けて ～エクササイズ・テーピングの活用～	8月30日(金)	83
	3-1-16-56	メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出すそう～	11月16日(土)	83
	3-1-16-57	学生アスリートのスポーツ栄養の基礎と現場への適応 ～ベストコンディションの実現に向けて～	12月2日(月)	83
学校力 の向上	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	10月1日(火)	40
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	10月17日(木)	40

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 選択必修研修				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
学校力の向上	3-2-05-21	性に関する指導研修会	8月28日(水)	40
	3-2-06-21	学校と社会がつながるキャリア教育	8月 8日(木)	40
	3-2-08-22	学校組織マネジメント 応用Ⅱ ～教育法規と学校運営～	12月 6日(金)	40
	3-2-08-23	学校組織が駆動するICT活用の可能性 ～チーム学校につなげる実践のアイデア～	7月 5日(金)	41
	3-2-09-21	学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント	6月28日(金)	41
情報教育	3-3-01-21	情報モラル 基本Ⅰ ～授業で取り組む著作権教育～	6月20日(木)	69
	3-3-01-22	情報モラル 基本Ⅱ ～個人情報を守る情報セキュリティ～	10月 4日(金)	69
	3-3-02-02	ICT活用Ⅱ ～教科指導におけるICT活用事例を学ぶ～	8月 8日(木)	69
	3-3-02-22	ICT利活用Ⅱ ～ロイノートを活用した学びの場づくり～	8月 6日(火)	69
	3-3-02-23	高校情報 基本Ⅰ ～高校 教科「情報」プログラミング～	7月 9日(火)	69
	3-3-02-24	高校情報 基本Ⅱ ～高校 教科「情報」データの活用～	10月 8日(火)	69
産業教育	3-4-10-21	未来を創造する人材育成 ～産業界の求める資質・能力を考える～	7月12日(金)	72
	3-4-10-22	探究の学びとは何か ～課題研究から考える～	12月12日(木)	72
	3-4-10-23	産業教育研修発表会 ～研究成果を生かした授業改善を考える～	1月17日(金)	72
	3-4-11-21	農業 基本Ⅰ ～バイオテクノロジー実験の基本～	7月11日(木)	72
	3-4-11-22	農業 基本Ⅱ ～農業教育におけるGAPの実践を考える～	9月 3日(火)	72
	3-4-11-23	農業 基本Ⅲ ～スマート農業を実践する授業づくり～	10月29日(火)	72
	3-4-12-21	工業 基本Ⅰ ～協働ロボットの活用法を探る～	7月30日(火)	72
	3-4-12-22	工業 基本Ⅱ ～CADから製図の指導法を考える～	9月20日(金)	72
	3-4-12-23	工業 基本Ⅲ ～人工知能(AI)技術について考える～	11月 8日(金)	72
	3-4-13-21	商業 基本Ⅰ ～企業の海外進出と金融のグローバル化～	6月21日(金)	73
	3-4-13-22	商業 基本Ⅱ ～統計の基礎とデータ活用法～	9月 3日(火)	73
	3-4-13-23	商業 基本Ⅲ ～夢をかなえる、経営計画～	11月 8日(金)	73
	3-4-15-21	福祉 基本Ⅰ ～介護技術の指導法と実践～	8月21日(水)	73
	3-4-15-22	福祉 基本Ⅱ ～教科「福祉」の教材研究と指導法～	11月21日(木)	73
生指・特支	3-5-02-24	生徒指導・特別支援教育 基本 ～子供の発達とその課題への支援～	11月21日(木)	62, 67
生徒指導	3-5-01-01	教育相談 基礎 ～受容・共感からはじまる教育相談～	7月11日(木)	62
	3-5-01-21	教育相談 基本 ～学校で生かせる解決志向のアプローチ～	8月30日(金)	62
	3-5-01-22	関係づくり 基本Ⅰ ～“かかわりの力”を育むSimpleプログラム～	7月 5日(金)	62
	3-5-01-23	関係づくり 基本Ⅱ ～カウンセリングを学んで教師力アップ！～	10月 1日(火)	62
	3-5-02-21	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅰ ～情報活用能力としての情報モラル教育～	6月 3日(月)	62
	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅱ ～不登校の児童生徒への理解と支援～	10月10日(木)	62
	3-5-02-25	連携・危機対応 基本 ～関係機関との連携のあり方を学ぶ～	11月 8日(金)	62
	3-5-02-26	連携・危機対応 応用 ～保護者対応の具体を学ぶ～	6月11日(火)	63
特別支援教育	3-6-02-23	読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン) ～苦手さの要因から支援を考える～	7月12日(金)	65
	3-6-02-24	発達障がいや吃音のある子の理解と支援 ～将来を見通した支援のあり方～	11月 7日(木)	66
	3-6-02-25	「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～	11月12日(火)	66
	3-6-03-22	特別支援教育の授業づくりⅡ(オンライン) ～授業のUD化で わかった!できた!～	7月31日(水)	66
	3-6-03-25	特別支援教育の授業づくりⅤ ～自立と社会参加へ 進路・キャリア教育～	8月29日(木)	66
	3-6-04-21	特別支援教育における保護者との関係づくり ～保護者と連携・協働するために～	9月24日(火)	66
連携 州大 学	3-7-01-01	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA (中南信会場)	9月30日(月)	41, 77
	3-7-01-02	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB (東北信会場)	10月 3日(木)	41, 77
	3-7-03-02	学級づくり・学校づくり ～近未来の学校と期待される教師像～	8月 9日(金)	42, 79
教上 越 大 学 院 大 学 連 携	3-8-01-02	ICTを活用した授業づくり ～教科学習における効果的なICT活用～	7月12日(金)	56, 80
	3-8-01-03	国・英で連携する「ことば」を通じた深い学び ～小中高を通じた言語活動の充実を目指して～	7月25日(木)	45, 51, 80
	3-8-01-04	学級経営と授業経営の一体的な充実 ～学級経営・授業経営 両面からのマイアクション～	9月 3日(火)	55, 80
	3-8-01-05	教師間連携を生み出す特別支援教育 ～多様な児童生徒の実態把握と指導・支援～	9月20日(金)	67, 80

# 8 キャリアアップ研修Ⅲ

- 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、採用から20年目の教員を対象とした、悉皆の研修です。これまでの自己実践を振り返り、今後の教員人生を展望することを通して、キャリアステージに応じた計画的なキャリアアップを考えるとともに、専門性や人間性を高め、ミドルリーダーに求められる実践力を向上させることを目的としています。
- キャリアアップ研修Ⅲは、校外研修A、校外研修B及び校内研修をそれぞれ1日ずつ、合計3日間の研修を1年で修了します。
- 研修の詳細は、「研修の手引」で確認してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修/生徒実習>指定研修>キャリアアップ研修Ⅲ)

## 1 研修講座の日程等

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
校外研修A	キャリアアップ講座A (中東信)	9月2日(月)	1日	総合教育センター	p.88を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	キャリアアップ講座B (南北信)	9月3日(火)			
校外研修B		各自の計画による	1日	自校以外での研修を原則とする	それぞれの主催機関等に連絡して指示を受けてください。
校内研修		校外研修終了後、各自の計画による	1日	在勤校	

□「キャリアアップ講座A・B」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

## 2 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座の全てに出席することができない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：令和6年4月17日(水)

## 3 校外研修Aについて

校外研修Aは、「キャリアアップ講座A」「キャリアアップ講座B」のいずれか1日、指定された日を受講します。

キャリアアップ研修Ⅲ															
キャリアステージ		基礎形成期				伸長期				充実期				深化・貢献期/管理職期	
講座番号・講座名		実施日				内容、連絡等									
1-4-01-01 キャリアアップ講座A(中東信)		9月2日(月)				セルフマネジメントの意義を理解し、これまでの自己実践を振り返り、ライフステージにあったキャリアアップを考えます。 講義 「長野県教育の課題とミドルリーダーの役割」 講義 「AI時代を生き抜く」 講師 スマートニューメディア研究所 所長 山脇 岳志 講義・演習 「非違行為防止とスクールコンプライアンス」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 演習・グループ協議 「これまでの自己実践から未来の目標へ」 ■持ち物 思いを込めた指導案や教具、文集、アルバム等1部									
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応											
		③	④	⑤	⑥	⑦		⑩	⑪	⑫	⑬	⑭			
1-4-01-02 キャリアアップ講座B(南北信)		9月3日(火)				セルフマネジメントの意義を理解し、これまでの自己実践を振り返り、ライフステージにあったキャリアアップを考えます。 講義 「長野県教育の課題とミドルリーダーの役割」 講義 「AI時代を生き抜く」 講師 スマートニューメディア研究所 所長 山脇 岳志 講義・演習 「非違行為防止とスクールコンプライアンス」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 演習・グループ協議 「これまでの自己実践から未来の目標へ」 ■持ち物 思いを込めた指導案や教具、文集、アルバム等1部									
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応											
		③	④	⑤	⑥	⑦		⑩	⑪	⑫	⑬	⑭			